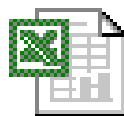


自動車使用管理計画作成ソフト (Excel)の概要

概要

一つのExcelファイルで以下のことが作成可能です。



※Excel97,2000,2002,2007で動作確認済み

自動車使用管理計画(10事業場1000台用).xls

自動車使用管理計画(100事業場5000台用).xls

※ファイルは事業者の現状にあわせて選択してください



1. 自動車使用管理計画の作成
2. 定期報告の作成

シート内訳

1. 自動車使用管理計画の作成に使用するシート

(【管理計画】表紙、【管理計画】事業場、【管理計画】排出量、【管理計画】措置、【管理計画】代替、)

2. 自動車使用管理計画(実績)の作成に使用するシート

(【定期報告】表紙、【定期報告】事業場、【定期報告】排出量、【定期報告】措置、【定期報告】代替)

3. 参考シート

はじめに:自動車使用管理計画作成ソフトの簡単な説明書きがあります。

排出係数:NO_x,PM,CO₂の排出量の算定に用いる排出係数を記載しています。

産業分類表:業種番号(【管理計画】表紙、【定期報告】表紙)の記載のための参照シートです。

入力部分

- シートにある水色のセル部分が入力項目です。

(セルの右上に赤い三角があるセルについては、カーソルを近づけるとセルに入力するための補足説明があります。)

例)

自動車運送事業者等は国土交通大臣、
それ以外は都道府県知事名を記載してください。

平成 年 月 日

住所

フリガナ

氏名

入力項目

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

自動車使用管理計画報告書

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第17条に基づき、特定自動車の使用管理計画を次のとおり提出します。

特定事業者の氏名又は名称

1. 自動車使用管理計画の作成項目

- 1.1 【管理計画】表紙
- 1.2 【計画計画】事業場
- 1.3 【管理計画】排出量
- 1.4 【管理計画】措置
- 1.5 【管理計画】代替

これらのシートのすべての入力部分を埋めることで自動車使用管理計画が提出できます。(順番は問いません)

1.1 【管理計画】表紙

- 業種番号の選択のみ産業分類表のシートを参照します。あとの項目は、補足説明に従い記載してください。

「産業分類表」のシート『日本標準産業分類』から、該当の業種番号を記載してください。
2つ以上の業種に該当する場合は、最も主となる業種1つを記載してください。

シート名: 計画表紙

シート名: 産業分類表

日本標準産業分類 中分類

1	農業	50	繊維・衣服等卸売業
2	林業	51	飲食食品卸売業
3	漁業	52	建築器具卸売業
4	水産養殖業	53	機械器具卸売業
5	鉱業	54	その他の卸売業
6	総合工事業	55	各種商品小売業
7	職別工事業(設備工事業を除く)	56	織物・衣服・身の回り品小売業
8	設備工事業	57	飲食料品小売業
9	食料品製造業	58	自動車・自動車小売業
10	飲料・たばこ・飼料製造業	59	家具・じゅう器・機械器具小売業
11	繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く)	60	その他の小売業
12	衣服・その他の繊維製品製造業	61	銀行業
13	木材・木製品製造業(家具を除く)	62	協同組織金融業
14	家具・装備品製造業	63	郵便貯金取機関、政府関係金融機関
15	パルプ・紙・紙加工品製造業	64	貸金業、投資業等非預金信用機関
16	印刷・同関連業	65	証券業、商品先物取引業
17	化学工業	66	補助的金融業、金融附帯業
18	石油製品・石炭製品製造業	67	保険業(保険媒介代理業、保険サービス業を含む)
19	プラスチック製品製造業(別掲を除く)	68	不動産取引業

該当する業種の番号を記載

産業分類表のシートを参照

1. 2【管理計画】事業場

- 特定自動車の台数は、【管理計画】排出量のシートで入力していれば記載は不要です。
- (【管理計画】排出量のシートより自動集計されます)
- 従業員数を入力すると合計が【管理計画】表紙のシートの従業員数に記載されます。

事業場別の特定自動車の台数		平成				年				月				日				現在			
事業場コード		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10										
事業場の名称																					
事業場の所在地																					
事業場の連絡先																					
従業員数																					
種類	車両総重量	合計	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数	台数										
普通貨物	1.7t以下																				
	1.7t超～2.5t以下																				
	2.5t超～3.5t以下																				
小型貨物	3.5t超	1	1																		
	1.7t以下																				
	1.7t超～2.5t以下																				
大型バス	2.5t超～3.5t以下	1		1																	
	3.5t超				1																
	1.7t以下																				
マイクروبス	1.7t超～2.5t以下																				
	2.5t超～3.5t以下																				
	3.5t超																				
特種自動車	1.7t以下																				
	1.7t超～2.5t以下																				
	2.5t超～3.5t以下																				
兼用自動車	3.5t超	1																			
	1.7t以下																				
	1.7t超～2.5t以下																				
被牽引車	2.5t超～3.5t以下	4	1	1	1	1															
	3.5t超																				
	1.7t以下																				

被牽引車の台数は、各事業所ごとに直接入力してください。

【管理計画】排出量のシートより自動集計されます。

1. 3【管理計画】排出量

- 必要項目をすべて入力すると排出量が計算されます。入力内容に間違いがあるとエラーとなります。
- オレンジ色の部分は任意入力項目となります。

正しい入力例

特定自動車NOx・PM排出量

		事業所合計	1台あたり平均	走行距離(1km)あたり平均
NOx排出量(kg)	実績	1,195.6	298.9	5.6
	目標	1000.0	-	-
	削減率	16%	-	-
PM排出量(kg)	実績	41.5	10.4	0.2
	目標	35	-	-
	削減率	15%	-	-
CO ₂ 排出量(t)	実績	148.2	37.1	0.7
	目標	140.0	-	-
	削減率	5%	-	-

【定期報告】排出量や【管理計画】措置(走行量の削減等)及び【管理計画】代替(低公害車の導入等)のシートを勘案して目標排出量を設定します。

← 一台毎の排出量

注)走行距離当たりの単位はNOx,PMは(g/km),CO2は(kg/km)。

車両毎の排出量

事業場番号	ナンバープレート				初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	後付け装置		年間走行距離(km)	年間燃料給油量	排出係数			燃費	排出量		
	使用の本拠	分類番号	文字	指定番号						NOx・PM低減	PM低減			NOx	PM	CO ₂		NOx(kg)	PM(kg)	CO ₂ (t)
1	多摩	100	あ	1234	平成10年4月	普通貨物車	KC	24,990	軽油		あり(H17あり)	96,000	34,000	0.460	0.017	2.62	2.8	1103.6	40.8	89.1
2	熊谷	400	い	5678	平成17年8月	小型貨物車	ADF	3,250	軽油			48,000	8,000	0.250	0.015	2.62	6.0	12.0	0.7	21.0
3	横浜	200	う	92	平成15年5月	大型バス	LR	19,880	天然ガス(CNG)			60,000	18,000	0.065	0.000	1.96	3.3	77.5	0.0	35.3
4	野田	500	さ	234	昭和63年12月	乗用車(軽乗用を除く)	E	1,650	ガソリン			10,000	1,250	0.250	0.000	2.32	8.0	2.5	0.0	2.9

間違った入力例(エラーが表示されます)

特定自動車NOx・PM排出量

		事業所合計	1台当たり平均	走行距離(1km)当たり平均
NOx排出量(kg)	実績	2.5	2.5	0.0
	目標	1000.0	-	-
	削減率	-39900%	-	-
PM排出量(kg)	実績			
	目標	35	-	-
	削減率		-	-
CO ₂ 排出量(t)	実績	38.2	19.1	0.2
	目標	140.0	-	-
	削減率	-266%	-	-

エラーがあります。再確認してください

エラーがあります。再確認してください

注)走行距離当たりの単位はNOx,PMは(g/km),CO₂は(kg/km)。

車両毎の排出量

事業場コードをすべての車両に記入しないと計画事業場のシートの台数が自動で計算されません

番号	事業場コード	ナンバープレート				初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	後付け装置		年間走行距離(km)	年間燃料給油量	排出係数			燃費	排出量		
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号						NOx・PM低減	PM低減			NOx	PM	CO ₂		NOx(kg)	PM(kg)	CO ₂ (t)
1	1	多摩	100あ	1234	平成10年4月	普通貨物車	KC	24,990	ガソリン		あり(H17あり)	96,000	34,000	エラー	エラー	エラー	2.8	エラー	エラー	エラー	
2	2	熊谷	400い	5678	平成17年8月	小型貨物車	ADF		軽油			48,000	8,000	エラー	エラー	エラー	6.0	エラー	エラー	エラー	
3	3	横浜	200う	92	平成15年5月	大型バス	LR	19,880	天然ガス(CNG)				18,000	0.065	0.000	1.96	エラー	エラー	35.3		
4	4	野田	500さ	234	昭和63年12月	乗用車(軽乗用を除く)	E	1,650	ガソリン			10,000	1,250	0.250	0.000	2.32	8.0	2.5	0.0	2.9	
5	5																				

多摩100あ1234...型式KCであれば燃料は軽油である

熊谷400い5678...車両総重量の記載漏れ

横浜200う 92...走行距離の記載漏れ

野田500さ 234...事業場コードの記載漏れ(車種別重量別台数の集計ができない)

...このように何か間違いがあればエラー表示で再考を促します。

NOx,PM,CO₂排出量(1台当たり)の算定について

- ・NOx・PMの排出量の算定式は次のとおり

[車両総重量3.5t未満の車両]

排出係数(g/km) × 年間走行距離(km)

[車両総重量3.5t超の車両]

排出係数(g/km/t) × 年間走行距離(km) × 車両総重量(t)

- ・CO₂の排出量の算定式は次のとおり

排出係数(kg/給油量の単位) × 年間燃料給油量(給油量の単位)

[給油量の単位]

ガソリン、軽油:L(リットル)

CNG(天然ガス):m³

LPG、メタノール:kg

電気、燃料電池:kWh

1. 4【管理計画】措置

- それぞれの項目について計画の有無を選択し、実施する計画であれば当てはまる計画項目に○をつけ、その他の取組があれば「その他」欄に記載します。
(独自の取組についてはシートの一番下にある「特記事項」に記載してください)

適正運転の実施等及び車両走行量の削減の計画

計画事項	計画の有無	計画項目	内 容	
適正運転の実施	あり		エコドライブマニュアルの作成、配布	
		○	エコドライブに関する教育、訓練の実施	
			エコドライブの実施(空ぶかし、急発進・急加速運転等の削減等)	
		○	アイドリングストップの徹底	
		○	デジタル式運行記録計等の活用	
		優良ドライバーの表彰		
		その他()		
車両の維持管理	なし		日常点検・整備マニュアルの作成、配布	
			日常点検・整備に関する教育、訓練の実施	
			日々の始業点検・定期点検の完全実施	
			エアークリーナーの定期的な点検	
			運転日報の作成	
		その他()		
共同輸送の促進			物資の集荷、仕分け業務の共同化(積載効率、輸送効率の向上)	
			配送業務の共同化(輸送距離、使用車両の削減)	
		その他()		
帰り荷の確保			配送と集荷を1台で実施できるように工夫	
			その他()	
ジャスト・イン・タイムサービスの改善			時間指定配送の回数の低減を要請	
			その他()	

車両の有効利用の促進

1. 5【管理計画】代替

- 「現状の台数」は、【管理計画】排出量のシートで入力していれば記載は不要です。将来の代替計画について記載します。

特定自動車代替計画、排出ガス低減装置装着計画

	現状の台数	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		合 計		
	平成18年3月31日	減少台数	新規使用台数	減少台数	新規使用台数	減少台数	新規使用台数	減少台数	新規使用台数	減少台数	新規使用台数	減少台数	新規使用台数	保有台数(22年度末)
天然ガス	1													1
ハイブリッド														
(ハイブリッド除く)	新・☆☆☆													
	新・☆☆☆☆													
	他	1												1
(ハイブリッド除く)	新長期	1												1
	超低PM☆☆☆													
	他 超低PM☆☆☆☆													
	1													1
電気														
メタノール														
燃料電池														
合 計	4													4
うち低公害車の合計	2													2
うち排出ガス低減装置	1													1

【管理計画】排出量のシートより自動集計されます



2. 定期報告の作成項目

- 2. 1 【定期報告】表紙
- 2. 2 【定期報告】排出量
- 2. 3 【定期報告】措置
- 2. 4 【定期報告】代替
- 2. 5 【定期報告】事業場

- ・ これらのシートのすべての入力部分を埋めることで定期報告ができます。手順は「1. 自動車使用管理計画」と基本的に同様です。

※ 2年目以降の定期報告は、定期報告ファイルをコピーして活用ください。